

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	環境保全事業			事務事業コード	5111-1
担当	環境 部	環境政策 課	環境政策 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	環境基本法		
管理方法	通常		生物多様性基本法・地球温暖化対策推進法		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民や事業者と行政が協働し、本市の環境保全を総合的かつ計画的に進めることにより、自然環境や生活環境の保全に関する意識の高揚を図り、より良い環境が将来の世代に受け継がれる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・第二次佐久市環境基本計画を基に、各種事業で掲げる目標(例:市民ワークショップの開催)が達成できるよう、市民・事業者・行政が協働して実施する事業を推進する。 ・緑の環境調査や自然観察会を実施し、自然環境への関心を持つきっかけをつくるとともに、現状を把握する中で特定外来生物(植物)の駆除講習会などを開催する。 ・市広報紙や市ホームページ、佐久ケーブルテレビ、FMさくだいら等で環境保全の市民周知を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	58,759		46,013		42,522	
	人件費	3.35 人	23,450	3.35 人	22,780	2.65 人	18,020
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	23,450		22,780		18,020	
	総事業費	82,209		68,793		60,542	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	1,518		10,100		450	
	一般財源	80,691		58,693		60,092	
	財源合計	82,209		68,793		60,542	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会を2回開催し、「第二次佐久市環境基本計画の改訂」、「佐久市ゼロカーボン戦略(素案)」に対する意見等をいただき内容について審議した。 ・令和3年度の緑の環境調査「佐久市いきものさがし」では、市民の皆様により(第二次佐久市環境基本計画で定めた)指標生物を含む4種類(フクロウ類、オオムラサキ、サクラソウ、バッタ類)の生息情報を募り、1,471件の報告を受けた。 ・自然観察会は新型コロナウイルス感染症対策のため1回のみ開催した。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
自然観察会の開催回数	回	実績	0	1	
		目標	7	7	7
	%	達成率	0	14	
成果指標	単位				
自然観察会の参加人数	人	実績	0	14	
		目標	100	100	7
	%	達成率	0	14	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	未達成	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自然観察会は「野鳥観察会」の1回のみで開催となった。しかしながら、これまでの実績として各種観察会の定員を満了す申し込みがあったことから、引き続き事業を行い、環境に関する市民意識の高揚を図る必要がある。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	自然環境、生活環境等に関する市民意識の高揚を図り、市民等が行動するためには、市の啓発活動と市民等への行動支援が必要である。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の環境調査「佐久市いきものさがし」では、第二次佐久市環境基本計画で定めた指標生物種報告1,500件(累計)を目標にしていることから継続的に調査をする必要があり、より多くの市民から調査協力を得るためPRの工夫が必要である。 ・特定外来生物(植物)の駆除については、各区においても調査を基に状況を把握し、対策を講じて行動に起こすまで市の支援が必要である。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校、職場をはじめ様々な機会でも子どもと大人が一緒になって環境について学び、考え、環境にやさしい暮らしを積極的に実践するための取組みを実施する。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	公害対策事業			事務事業コード	5112-1
担当	環境 部	環境政策 課	環境保全 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	法定受託事務	法定根拠	佐久市公害防止条例、公害紛争処理法		
管理方法	簡易		騒音・振動規制法、悪臭防止法		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 事業活動等から発生する公害を防止し、市民の健康保護や生活環境の保全を図ることで、市民が快適に暮らすことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・公害苦情、水質汚濁事故等に関係機関と連携して対応するとともに、原因者へ指導を行う。 ・佐久市公害防止条例に基づく届出書類の受付事務及び公害を防止するための指導等を行う。 ・騒音・振動規制法に基づく届出書類の受付事務を行う。 ・自動車騒音常時監視、河川水質・底質、地下水水質監視、窒素酸化物汚染測定の実施、各調査を委託により行うとともに、食品放射能測定、空間放射線量測定を実施し、市ホームページや環境白書を通じて結果等を市民へ公表する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	4,584		5,026		6,008	
	人件費	1.00 人	7,000	1.00 人	6,800	1.25 人	8,500
	非常勤職員等	1424 時間	1,789	1422 時間	1,857	0 時間	0
	人件費合計	8,789		8,657		8,500	
総事業費		13,373		13,683		14,508	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	13,373		13,683		14,508	
	財源合計	13,373		13,683		14,508	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	自然環境保全事業			事務事業コード	5112-2
担当	建設 部	公園緑地 課	公園管理 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	佐久市自然環境保全条例		
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 地域住民が安心して暮らせる災害のない良好な生活環境および自然環境の維持・保全を次世代へ継承する。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 自然環境の保全に関する施策を総合的に推進するために必要な事項を定めた佐久市自然環境保全条例に基づき、山林及び原野の開発等に関する相談のほか、本条例に基づく申請行為について、関係各課と協議し、適切な指導や許可を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.20 人	1,400	0.20 人	1,360	0.30 人	2,040
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,400		1,360		2,040	
総事業費		1,400		1,360		2,040	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,400		1,360		2,040	
	財源合計	1,400		1,360		2,040	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田霊園管理事業			事務事業コード	5112-3
担当	総務 部	臼田支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 霊園を適正に管理し、市民がいつでも快適に利用している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・霊園の維持管理(巡視・除草・清掃・修繕工事等)を行う。 ・霊園に関する各種届出事務、許可申請受付事務等を行う。 ・霊園の共用箇所以外の使用区画内の管理については使用者が行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	57		399		512	
	人件費	0.20 人	1,400	0.25 人	1,700	0.25 人	1,700
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,400		1,700		1,700	
	総事業費	1,457		2,099		2,212	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,457		2,099		2,212	
	財源合計	1,457		2,099		2,212	

令和 3 年度 実施内容	霊園の維持管理等を行った。 第1霊園の入口階段に転落防止柵を設置した。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
霊園の清掃回数	回	実績	6	6	
		目標	6	6	6
	%	達成率	1	1	
成果指標	単位				
		実績			
		目標			
	%	達成率			

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	職員による霊園内の共用部分の清掃、草刈り、除草剤散布により、ゴミが減少するなど適正な霊園管理が図られた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	新たな管理料の徴収が困難であることから民間や公社等への管理委託は難しく、市が管理する必要がある。
事業の課題	数十年先を見据えた運営方法の検討が課題である。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載>						
	将来的な霊園管理の在り方について、霊園使用者とともに最善の方策を探求していく。						

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田公害対策事業			事務事業コード	5112-4
担当	総務 部	臼田支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	環境基本法		
管理方法	簡易		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 公害防止により、生活及び自然環境の保全を図り、市民が快適に暮らすことができています。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・公害苦情(大気汚染・水質汚濁・騒音・野焼き等)の申立て(通報)に対する調査及び原因者に対する改善等指導を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.15 人	1,050	0.25 人	1,700	0.25 人	1,700
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,050		1,700		1,700	
総事業費		1,050		1,700		1,700	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,050		1,700		1,700	
	財源合計	1,050		1,700		1,700	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	浅科公害対策事業			事務事業コード	5112-5
担当	総務 部	浅科支所 課	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠			
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 公害防止により、生活及び自然環境の保全を図り、市民が快適に暮らすことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・公害苦情(大気汚染・水質汚濁・騒音・野焼き等)の申立て(通報)に対する調査及び原因者に対する改善指導。 ・北陸新幹線鉄道により発生する騒音及び振動の調査(毎年1回)は、県機関の機器を用いて測定し、結果は県のホームページに公開される。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.30 人	2,100	0.30 人	2,040	0.30 人	2,040
		0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,100		2,040		2,040	
	総事業費	2,100		2,040		2,040	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,100		2,040		2,040	
	財源合計	2,100		2,040		2,040	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	望月公害対策事業			事務事業コード	5112-6
担当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠			
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 公害防止により、生活及び自然環境保全を図り、市民が快適に暮らすことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 公害の苦情(大気汚染、水質汚泥、騒音、野焼等)の通報に対する調査及び原因者に対する改善等を指導する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.25 人	1,750	0.25 人	1,700	0.25 人	1,700
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,750		1,700		1,700	
総事業費		1,750		1,700		1,700	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,750		1,700		1,700	
	財源合計	1,750		1,700		1,700	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	地下水等水資源保全事業			事務事業コード	5112-7
担当	環境部	環境政策課	環境係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠	水循環基本法		
管理方法	通常		長野県豊かな水資源の保全に関する条例、佐久市地下水保全条例		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 地下水等水資源が保全されることにより、市民への良質で安全な水の供給が図られ、健康で安心安全な市民生活を将来にわたり確保していくことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・地域共有の貴重な財産である地下水等水資源の保全と活用の取組は、市町村の枠に収まるものではなく、地域の枠を超え長い年月を掛け循環していることから、一部の自治体の取組だけでは、水資源の保全は不可能である。そこで、全国の自治体等による情報ネットワークを構築するために設立された「水資源保全全国自治体連絡会」において、地域を超えた水資源の保全に取り組む。 ・「長野県豊かな水資源の保全に関する条例」に基づき、水源地域のうち、その土地の所有者及び利用の状況等を勘案して水資源の保全のために必要があると認める区域を、「水資源保全地域」として指定する取組を推進する。 ・佐久地域11市町村及び東御市(以下「佐久地域」という。)の水循環 ^{※1} は、地下水等の水資源が重要な役割を果たしており、佐久地域流域全体で水循環の健全化を図るためには、佐久地域が「流域マネジメント」に取り組む必要があるため、令和3年度に「佐久地域流域水循環計画」を策定する。 (※1水循環:水が、蒸発、降水、流下又は浸透により、海域等に至る過程で、地表水又は地下水として河川の流域を中心に循環すること。)	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	3,791		3,523		1,444	
	人件費	1.00 人	7,000	1.00 人	6,800	1.10 人	7,480
	非常勤職員等	10 時間	13	10 時間	13	0 時間	0
	人件費合計	7,013		6,813		7,480	
	総事業費	10,804		10,336		8,924	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	1,951		1,845		0	
	一般財源	8,853		8,491		8,924	
	財源合計	10,804		10,336		8,924	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久地域流域水循環研究検討委員会専門部会の開催(5月、7月) ・佐久地域流域水循環計画素案に対する意見募集の実施(6月～7月) ・佐久地域流域水循環協議会の開催(8月) ・佐久地域流域水循環系策冊子の作成(10月) ・水資源保全全国自治体連絡会全体会議を書面により開催(10月) ・水資源保全全国自治体連絡会の会員自治体が福島県沖地震で断水が生じたため、飲料用ペットボトル及び給水袋のプッシュ型支援を実施(3月)
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
流域水循環計画策定に係る協議会等の開催	回	実績	3	3	
		目標	6	4	2
	%	達成率	50	75	
成果指標	単位				
水資源保全地域の指定数	箇所	実績	0	0	
		目標	2	1	2
	%	達成率	0	0	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	5月に研究検討委員会を実施し、計画素案をまとめた。6月～7月にかけて素案への意見募集を行い、提出された意見に対する協議会の考え方をまとめ、7月の研究検討委員会で提出された意見を踏まえたうえで計画案を確定し、8月に開催した協議会において計画内容の承認を受け計画が策定された。また、12月には国の水循環基本計画に基づいた流域水循環計画として、国の認定を受けたことにより計画策定事業は完遂した。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	水循環基本法に基づき作成する流域水循環計画は市町村が作成し、行政・住民・団体・事業者等が一体となって施策に取り組むことが必要。
事業の課題	<p>平成26年7月に「水循環基本法」が施行され、翌年7月には「水循環基本計画」が閣議決定された。水循環基本法では、おおむね5年ごとに水循環基本計画の見直しを行い、必要な変更を加えることとされており、令和2年6月に改正水循環基本計画が閣議決定されたところである。同計画では、流域における健全な水循環を維持又は回復するために、地域が一体となって水循環に関する施策を総合的かつ一体的に推進する「流域マネジメント※」の取組が推進されていることから、国、県、水道事業者等と連携して、水資源保全に係る「佐久地域流域水循環計画」を策定した。</p> <p>策定された計画に基づき実行計画の策定や既存計画に水循環に関わる取組を定め、行政・住民・団体・事業者などが一体となって取り組む必要がある。また、佐久地域の計画推進状況を集約し、評価することで計画内容や連携体制の改善を図り、計画の効率的な推進を図るために評価体制を整備する必要がある。</p> <p>(※流域マネジメント: 森林、河川、農地、都市、湖沼、沿岸地域等において、人の営みと水量、水質、水と関わる自然環境を良好な状態に保つ、又は改善するため、様々な取り組みを通じ、流域において関係する行政などの公的機関、事業者、団体、住民等がそれぞれ連携して活動すること。)</p> <p>水資源保全地域指定については、指定区域内の所有者が膨大且つ所有者を特定できない土地も複数あるため、調査に長期間を要している。</p>	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度	～ 令和 年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <p>佐久地域12市町村が一体となって策定した「佐久地域流域水循環計画」に基づいた施策を行政、住民、団体、事業者などがそれぞれ連携して「流域マネジメント」の推進を図るための体制を整備していく。水資源保全地域の指定については、所有者が特定できる水源地域について調査を進め、本年度は2カ所の地域指定を目指す。</p>			

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	動物愛護事業			事務事業コード	5112-8
担当	環境部	環境政策課	環境係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律		
管理方法	通常		佐久市猫繁殖制限手術費補助金交付要綱		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障を防止し、人と動物が共生する社会の実現を図る	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・獣医師会等と連携し、飼犬の登録や狂犬病予防注射の徹底を図るため法律で定められた期間に巡回注射を実施するとともに、未注射犬の飼育者に対して督促をする。 ・動物愛護に関する市民意識の向上を図るため、ポスターやリーフレット等を作成し区へ配布する。 ・公道上において轢死等の犬猫の死骸を回収する。 ・猫の適正飼養の啓発、過大な繁殖及び近隣被害を未然に防止するとともに、寿命を全うせずになくなってしまいう不幸な命を生み出さないため、猫繁殖制限手術費用に対する補助金を交付する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	10,061		9,384		7,643	
	人件費	1.00 人	7,000	0.90 人	6,120	1.25 人	8,500
	非常勤職員等	20 時間	25	20 時間	25	0 時間	0
	人件費合計	7,025		6,145		8,500	
	総事業費	17,086		15,529		16,143	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	7,610		7,905		3,566	
	一般財源	9,476		7,624		12,577	
	財源合計	17,086		15,529		16,143	

令和 3 年度 実施内容	飼犬登録事務(通年) 狂犬病予防の巡回注射(5月、10月) 公道上等での犬猫の死骸処理(205件) 猫繁殖制限手術費補助金交付(飼い猫95頭、飼い主のいない猫670頭) ガバメントクラウドファンディングの実施(7~10月)
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
GCFの目標金額	千円	実績	1,880	2,860	
		目標	1,800	2,500	4,000
	%	達成率	104.4	114.4	
成果指標	単位				
猫繁殖制限手術補助事業の補助頭数	頭	実績	809	765	
		目標	600	600	600
	%	達成率	134.8	127.5	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	補助頭数は、飼い猫95頭(R2:194頭)、飼い主のいない猫のうち個人は161頭(R2:126頭)、ボランティアは509頭(R2:489頭)、計765頭(R2:809頭)で目標頭数を達成した。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	地域猫活動を促進するためには、地域住民、ボランティア、行政等関係者がそれぞれの役割を担い、地域の問題を地域で解決するため協働して行うことが大切であり、行政として活動資金の助成や啓発活動などを行う必要がある。
事業の課題	<p>飼い主のいない猫等の増加を防止し、市民の快適な生活環境の保持を図るためには、現時点において地域猫活動を促進していくことが最善策であり、地域猫活動を行うにあたってボランティア団体が大きな役割を担っている。この活動を行うボランティアやボランティア団体が市内に多く存在することで事業の促進に結びつくが、ボランティアは厳しい運営状況の中で活動を行っているため、実施頭数が増加することでボランティアの負担増加につながる恐れがある。そのため、ボランティアの活動状況を注視しながら今後の支援体制を検討していくとともに支援を行うための財源の確保に一層努める必要がある。</p> <p>また、不幸な猫を減らすためのもう1つの重要な施策は、猫の生態や適正飼養の周知及び繁殖制限手術の実施であることから、管理できる頭数以上に増加させてしまう前に周知徹底が図られるよう引き続き啓発していく必要がある。</p>	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <p>不幸な猫の頭数を短期的に減らすために繁殖制限手術の補助頭数を増やすための財源を確保しつつ、重要施策である猫の生態等の周知の徹底を図る。</p> <p>また、地域猫活動で大きな役割を担っているボランティア団体の活動状況を注視しながら、ボランティア団体の負担が過多にならないよう更なる支援施策を検討していく。</p>		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田動物愛護事業			事務事業コード	5112-9
担当	総務 部	臼田支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	狂犬病予防法		
管理方法	簡易		動物の愛護及び管理に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 狂犬病予防注射の実施及び路上等で死んだ愛玩動物(犬・猫に限る)の処理により、市民は安全で快適な生活を享受している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・獣医師会等と連携し、飼犬の登録や、狂犬病予防注射の徹底を図るため法律で定められた期間に巡回注射を実施するとともに、未注射犬の飼育者に対して督促をする。 ・動物に関する市民意識の向上を図るためのイベントを開催する。 ・公道上等の犬猫死骸処理を行う。(平成27年度から業務委託。ただし緊急時は職員が対応する。) ・飼い主のいない猫の増加を抑えるための猫の繁殖制限手術の推進を図る。 ・ペットの苦情等について佐久保健福祉事務所と連携して対応する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.15 人	1,050	0.25 人	1,700	0.25 人	1,700
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,050		1,700		1,700	
総事業費		1,050		1,700		1,700	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,050		1,700		1,700	
	財源合計	1,050		1,700		1,700	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	浅科動物愛護事業			事務事業コード	5112-10
担当	総務 部	浅科支所 課	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠			
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障を防止し、人と動物が共生する社会の実現を図る。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 獣医師会等と連携し、飼犬の登録や、狂犬病予防注射の徹底を図るため法律で定められた期間に巡回注射を実施するとともに、未注射犬の飼育者に対して督促をする。 動物に関する市民意識の向上を図るためのイベント開催、また公道上等の犬猫死骸処理や飼い主のいない猫の増加を抑えるための猫の繁殖制限手術の推進を図る。 ・巡回による、狂犬病予防注射の実施及び飼い犬登録事務を獣医師会と連携し実施 ・ペットの苦情処理等は佐久保健福祉事務所と連携して対応	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.30 人	2,100	0.30 人	2,040	0.30 人	2,040
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,100		2,040		2,040	
総事業費		2,100		2,040		2,040	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,100		2,040		2,040	
	財源合計	2,100		2,040		2,040	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	望月動物愛護事業			事務事業コード	5112-11
担当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠			
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 狂犬病予防注射の実施及び公共物上の愛玩動物(犬・猫)の死骸処理等により、市民が安全で快適な生活を享受している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 狂犬病予防注射の定期巡回、飼犬管理登録等の事務処理、ペットによる苦情処理及び公共物上の愛玩動物(犬・猫)の死骸の改修等の実施 ・狂犬病予防注射の定期巡回及び飼犬管理登録等事務を獣医師会との連携により実施 ・ペットによる苦情対応は、佐久保健所と連携して対応 ・公共施設(道水路)での犬猫死骸の回収及び処理	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.20 人	1,400	0.20 人	1,360	0.20 人	1,360
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,400		1,360		1,360	
	総事業費	1,400		1,360		1,360	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,400		1,360		1,360	
	財源合計	1,400		1,360		1,360	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	衛生委員会等活動費交付事業			事務事業コード	5112-12
担当	環境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠	佐久市衛生委員会規約	
管理方法	簡易				
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市域の良好な環境づくりや、環境保全の推進	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 衛生委員会活動費交付及び市内一斉清掃等への活動補助	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	9,700		9,800		9,900	
	人件費	0.40 人	2,800	0.35 人	2,380	0.35 人	2,380
	非常勤職員等	200 時間	216	200 時間	193	200 時間	193
	人件費合計	3,016		2,573		2,573	
	総事業費	12,716		12,373		12,473	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	12,716		12,373		12,473	
	財源合計	12,716		12,373		12,473	